

# 令和6年度事業報告書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

特定非営利活動法人  
脳損傷友の会高知 青い空

## 1 事業の成果と課題

令和6年度も、月例会(毎月第3日曜)、女子会(毎月第2土曜)、中土佐町つどい処(奇数月第4土曜)を継続して実施した。月例会は一度も中止せず開催できた。9月にはバーベキュー大会、12月には第10回Hi-Six42.195kmリレーマラソン(ハーフの部)に出場、3月には花見を行い、当事者・家族・支援者間で親睦を深める機会をもてた。女子会はZoomを併用したハイブリッド形式で行い、当事者・家族・支援者の意見交換の場となっている。

指定障害福祉サービス事業所(就労継続支援B型)青い空は、開所日数＝255日(－10日)、延べ利用者数＝7,659人(+643人、+9.1%)、1日平均利用者数＝30.03人(+3.55人、+13.4%)、延べ作業時間＝35,199時間(+3,305時間、+10.3%)、工賃支払総額＝5,457,455円(+561,515円、+11.4%)、平均時給＝155円(+1.5円、+1.3%)となり、昨年度からは平均時給が前年度比プラスとなった。今後も利用者増が見込まれるため、新たな収入源を得ることが急務である。

事業所では、浄水器カートリッジやガスメーター等の機械類の解体、レザークラフト、資材販売、長浜や仁淀川町での農作業などを行った。特に浄水器カートリッジや機械類の解体は、供給が不安定な面があるものの、大きな収入源となっている。レザークラフトでは「高知県漁業監督吏員・司法警察員証票ケース」の初受注を受け、今後の継続が期待される。また、第25回障害者作品展に出展し、レザーウォレットやキーホルダーを販売し利用者にとって接客経験の場となった。農業面では、長浜で八升豆の栽培を開始したが、種まきが遅れ収穫量が少なかったため、令和7年度は早期の種植えに取り組む。仁淀川町での楮栽培は年々収穫量が増えているが、安定収入には至っていない。

「Café Blue Sky(近森リハ病院内)」は2019年2月よりコロナの影響で休止していたが、再開の目途が立たず閉店となった。越知町で運営している「おちつき処」では集客対策として日替わり定食の提供を開始し、SNSでの情報発信により認知度が向上、年度末にはInstagramフォロワーが250名に到達し、売り上げも向上している。さらに越知町障害保健福祉課・企画課の協力で、地元の農家が生産した野菜や果物を活用した定食提供を、次年度から始めることとなっている。

令和6年度も高知県から委託を受け、近森リハビリテーション病院と共同で高次脳機能障害支援拠点センターを運営し、相談対応、研修会や家族教室の実施、普及啓発活動に取り組んだ。また、厚労省から令和6年度障害者芸術文化活動普及支援事業における中国・四国ブロック広域支援センターを受託し、研修会やブロック会議等を実施、自主事業の企画にも注力した。

### (1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者の 範囲及び人数
理解を広める ための事業	つうしんブルースカイ発行 日本高次脳機能障害友の 会 全国大会参加 アメニティフォーラム参加	4回発行  令和6年10月 令和7年2月	事務所  滋賀県大津市	2～3人  5人	会員・医療・福祉・行政150 部
社会参加を 促進するため の事業	BBQ大会 Hi-Six42.195kmリレーマラソ ン 花見大会	令和6年9月  令和6年12月 令和7年3月			
相談、調査、 支援事業	月例会 女子会 つどい処	第3日曜 第2土曜 奇第4土	青い空 青い空 つどい処		当事者・家族・医療関係者 等  12～20人
障害福祉 サービス事業	就労継続支援B型事業 青い空	平日8:30～ 17:30	青い空	7人	登録者46人
	高次脳機能障害相談所 青い空	平日10:00～ 16:00	青い空	3人	高次脳機能障害を呈し利用 を希望する者。
居宅・介護予防 サービス事業	該当なし				
目的を達成 するために必 要な事業	高知県高次脳機能障害支 援拠点センター	平日8:30～ 17:00	近森リハビリ テーション病 院	3人	支援者および当事者、行政 関係者
	中国・四国Artbrut Support Center passerelle	平日8:30～ 17:00	青い空	2人	各支援センター、行政関係 者

### (2) その他の事業

定款の 事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者の 範囲及び人数
物品・食品等 の製造及び販 売事業	該当なし				
出版物の販 売及びビデ オ等の貸し出 し事業	該当なし				